

2010年11月 5日  
レオス・キャピタルワークス株式会社

## レオス・キャピタルワークス株式会社 直接販売「ひふみ投信」が純資産10億円を突破

### － 安定した運用成績と設定来ヶ月連続 資金流入超を背景に －

レオス・キャピタルワークス株式会社 (URL: <http://www.rheos.jp/> 本社: 東京都千代田区 代表取締役社長: 岩田次郎) が設定、運用、販売する投資信託「ひふみ投信」の純資産総額が10億円を突破したことをお知らせします。

「ひふみ投信」は「できるだけ安いコストで、幅広いお客様の資産形成を長期にわたって応援したい」という思いを「ためてふやす」「守りながらふやす」という考え方で、レオス・キャピタルワークスが直接販売する投資信託です。

毎月お客様の金融機関口座から自動引き落としとして購入する「定期定額引き落とし購入サービス」や、長期に保有していただいた口数に対し、信託報酬の一部を還元する日本初の仕組み「資産形成応援団 (信託報酬一部還元方式=日本初)」などの新しい仕組みを積極的に取り入れ、投信ブロガーが選ぶ! Fund of the Year 2009 のトップ10にランクインするなどご好評をいただいております。

設定来 (2008年10月1日) の運用成績は、2010年10月末で +7.21%と、TOPIX の騰落率 -25.43%と比較して安定した運用実績を残すことができました。また毎月安定した資金の流入があり、着実に純資産総額を積み上げています。

今後もお客様の資産形成を長期にわたって応援できるよう努めて参ります。

#### 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります (株価変動リスク)。

外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります (為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様 (受益者) の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) の「投資リスク」をご覧ください。

#### お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金 (解約) 手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年 1.029% (税抜年 0.980%) 監査費用 信託財産の純資産総額に対して年 0.00525% (税抜年 0.005%)

その他の費用 組入資産の売買の際に発生する売買委託手数料 (それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。